

	類似疾病検査	疫学調査	臨床検査	送付用検査材料
海1 牛痘〔法〕	① 14 牛ウイルス性下痢・粘膜病 ② 12 悪性カタル熱 ③ 61 牛コクシジウム症 ④ 海2 口蹄疫 ⑤ 18 イバラキ病 ⑥ 19 牛丘疹性口炎(偽牛痘) ⑦ 10 ブルータング ⑧ 海9 小反芻獣疫	①2011年に世界的清浄化宣言が出された。 ②牛、水牛、めん羊、山羊、豚など偶蹄類が感染 ③潜伏期2～5日で急性死 ④接触、同居感染する。 ⑤伝播力が強い。 ⑥死亡率は品種によって異なり、黒毛和種で特に高い。 ⑦ウイルス株により病原性が異なる。	①発熱 ②一般症状の悪化 ③鼻漏(水様性のちに膿様性) ④口腔粘膜の水疱形成、偽膜、び爛 ⑤下痢(水様性のちに粘液、血液、粘膜片、偽膜混在) ⑥白血球減少	①発熱期(発病後1～2日)の抗凝固剤加の血液 ②リンパ節、脾臓 ③回復例では、発熱期、回復期血清
海2 口蹄疫〔法〕	① 海5 水疱性口炎 ② 海11 豚水泡病 ③ 海25 豚水泡疹 ④ 14 牛ウイルス性下痢・粘膜病 ⑤ 19 牛丘疹性口炎(偽牛痘) ⑥ 海1 牛痘 ⑦ 海20 羊痘 ⑧ 12 悪性カタル熱 ⑨ 10 ブルータング ⑩ 15 牛伝染性鼻気管炎	①偶蹄類(牛、水牛、豚、めん羊、山羊等)に感染する。 ②潜伏期は5～14日 ③伝播がきわめて速い。 ④幼若な豚、牛では死亡することがあるが、一般には死亡率は低い。 ⑤人、車両、風によって広範囲に伝播する。	①39℃以上の発熱 ②一般症状の悪化 ③泡沫性流涎 ④舌、唇、歯根部、蹄部、鼻腔、乳房、膣の粘膜の充血、水疱、爛斑 ⑤跛行 ⑥泌乳量減少ないし停止 ⑦幼獣の死亡 ⑧流産	①舌、口内または蹄部の水疱上皮、水泡液 ②病変部ぬぐい液 ③鼻腔、口腔ぬぐい液 ④血液 ⑤食道咽頭粘液(プロバング)
海3 流行性脳炎(ウエストナイルウイルス感染症)〔法〕	① 141 流行性脳炎(日本脳炎) ② 東部馬脳炎 ③ 西部馬脳炎 ④ ベネズエラ馬脳炎	①北米、西アジア、欧州、アフリカで発生。 ②馬、人、鳥類など多くに感染する。 ③馬、人は終末宿主で鳥類が増幅動物 ④潜伏期は3～6日 ⑤アルボウイルスでイエカ等多くの蚊が媒介する。	①運動失調 ②感覚麻痺 ③失明 ④口唇下垂 ⑤急死	①脳 ②血清
海4 狂犬病〔法〕	① 21 破傷風 ② 18 イバラキ病 ③ 50 ヒストフィルス・ソムニ感染症 ④ 52 リステリア症 ⑤ 66・141 流行性脳炎(日本脳炎) ⑥ 75・170 トキソプラズマ病	①輸入動物との関係がある。 ②犬、肉食獣に狂犬病の発生があった。 ③野犬、野獣の咬傷 ④同居感染はない。 ⑤死亡率は100%である。	①一般症状の悪化 ②神経症状(狂騒、沈うつ、麻痺) ③流涎 ④起立不能 ⑤皮膚咬傷	①大脳アンモン角部 ②ホルマリン固定臓器(脳、唾液腺)
海5 水疱性口炎〔法〕	① 海2 口蹄疫 ② 海11 豚水泡病 ③ 海25 豚水泡疹 ④ 19 牛丘疹性口炎(偽牛痘) ⑤ 10 ブルータング	①偶蹄類(牛、めん羊、山羊、豚等)だけでなく馬等多種類の動物に感染。人も感染することがある。 ②夏期に多発する。 ③死亡率は低い。 ④経口、経鼻感染の他、吸血昆虫の媒介も示唆されている。 ⑤アメリカ大陸のみで発生	①舌、口唇、歯根、鼻鏡などの粘膜、蹄周辺部の皮膚または乳房、乳頭などに水疱および潰瘍 ②食欲減退、40℃以上の発熱 ③泡沫性流涎 ④跛行 ⑤発症後10～14日で回復	①水疱の上皮、水泡液 ②血液